

令和6年度第3回こども・子育て会議開催にあたり各委員よりいただいた事前のご意見

当日資料

1. 事務局説明

資料番号	ページ番号	内容	対応
1	6	58 「乳児等通園支援事業」の「▼確保方策」に記載されている内容は、一時預かりの枠を減らし、新しい事業に充てるということか。令和8年度スタートとあるが、現時点でどのような形で開始する予定なのか。	橿原市の現状としては、まず待機児童問題があり、待機児童解消に向けての施策を進めることが最優先と考えています。一時預かり事業は、市町村が実施主体となる補助事業という位置づけとなり、一方で「乳児等通園支援事業」は、法に基づく新たな給付事業と位置付けられます。そのため、乳児等通園支援事業に関しては、令和8年度から必ず開始しなければならない新規事業となりますが、十分な提供体制の確保が難しいと考えています。また、現時点で国においても事業内容等が検討段階のため、開始当初は現行の一時預かり枠の一部を新規事業に充て、国の動向を見ながら受け入れ体制について検討していく予定です。 当事業について、現時点で詳細は国においても検討中の段階のため、どのような方法で進めるのか未定です。
2	9	1 挿絵について ①6～17歳が女子のみでいいのか ②妊婦・保護者が男性だけでいいのか	①に関しては男子も追加します。②に関しては母親である妊婦と父親、子どもという設定としています。妊婦も保護者の一人としてとらえているのでこのイラストになっております。ジェンダーの観点から、女兒も追加します。
3	9	2 「子ども・若者の意見の紹介」について ①実施したアンケート年度等出典元を記載してはどうか。 ②「大人に心がけてほしいこと」の4つの意見の文末を「～してほしい」にした方が強く伝わるのではないかと。	①に関しては実施年度、実施アンケート名を記載する方向で、前向きに検討いたします。②に関してはその通り修正いたします。
4	9	3 基本目標と「取り組むこと」の間に線があると、次の基本目標とセットにみえてしまうと思う。	レイアウト等、検討いたします。
5	9	3 基本目標2の挿絵に地域や社会全体がイメージできるようなカットがあればいいのではないかと。	検討いたします。
6	9	4 「重点施策（しさく）」のルビは「せさく」が一般的ではないかと。	本来は「しさく」が正しく、「せさく」読みは主に行政機関で使われていることが多いため、今回のルビは正式である「しさく」にしています。
7	10	イラストの「もっちゃん」が剣を持っているのはなぜか。	「こども版」ということで、主に小中学生が読みたくなるようにゲーム風のキャラクター設定をしています。RPGゲームで勇者が宝探しの冒険に行くというイメージです。

8	10	3	上から2行目「困ったときは、仲間に助けてもらおう」と読むと、こどもはまず友人を思い浮かべると思います。	「誰かに相談する」ということが重要ですので、友人と捉えてもらってもいいと思っています。このページの相談窓口一覧については、身近な友人や親に相談できない場合に公の相談窓口の利用もできると伝えるものとなります。
9	10	3	中段の「習い事のせんせい」の記述は必要か？習い事をしたくてもできないこどももいるのではないか。	おっしゃるとおりかと思しますので、削除します。
10	10	4	下から8行目「～かかわり方を、おとなたちにつたえる！」を、「～かかわり方を、こどもたちとかかわるおとなたちにつたえる！」にしてはどうか。	「こどもまんなか社会」を目指すためには、直接的にこどもと関わる大人以外の大人にも伝えていく必要があります。そのため、「～かかわり方を、おとなたちにつたえる！」でいきたいと考えています。
11	10	1	表紙となる部分には文字を少なくした方がこどもが手にとりやすいと思う。こどもに興味を示してもらうことが大切と思う。	ページ数の制限等がありますので、レイアウト等再度検討いたします。
12	10	1	「こどもまんなか社会」の説明文6行目の語尾を他と揃える方がよい。	修正します。
13	10	3	「つらいとき～」の文章の最後に「あなた」という表現があるが、他は「君」となっているため揃える方がいいと思う。	修正します。
14	10	4	吹き出しの下の説明部分で、「いろいろな大人たちがどうすればいいかを書いた」という表現が曖昧なため、「いろいろな大人たちがこどもまんなか社会の実現を目指して」という表現にするのはいかがか。	「いろいろな大人たちが「こどもまんなか社会」をかなえることをめざして～」という表現に変更します。
15	10	4	枠で囲われている部分のギリシャ数字がこどもには伝わりにくいと思う。	修正します。
16	10		勇者をモチーフにしたゲーム風デザインは、大人が考えたこども用感が強く、現代のこどもにウケるゲームデザインと異なるように感じた。ゲーム風デザインにするなら、モチーフにするゲームデザインやジャンルの見直しが必要と感じた。	検討いたします。
17	6、10	3、17、25、30、32、38、108、119、122、123 (資料6) 3(資料10)	「不登校」というネーミングがネガティブなイメージを与えるため、檀原市独自のポジティブな発想として、「不登校」とは異なるネーミングをするのはいかがか。在宅学生や自宅学習、フリースクーラーやリモートチュードント等、もし可能であればパブリックコメントで募集するのもよいのではないか。	おっしゃることは最もかと思えます。一方で、「不登校」という言葉は「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」で定義づけられているため、市独自で変更ということもなかなか厳しいことも現状かと思えます。ご意見の一つとして受け止めさせていただきたいと思えます。 ★委員のみなさまのご意見を聞かせていただきたいです。